

感染状況・医療提供体制の分析(11月10日時点)

【岡山県専門家有志】
(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計	前回の数値 (11月3日時点)	現在の数値 (11月10日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	75人 (4人)	76人 (4人)	→	総括コメント レベル3. 感染が拡大しつつあり警戒が必要 新規陽性者は <u>人口10万人当たり4.0人</u> と不変。県内でクラスターが散発し、人口当たり感染者数は全国でもトップ。新規陽性者における高齢者の割合増加。 世界的に見ても、感染が再流行している地域もある。人の移動が増える時季となり、今後感染者増加が懸念される。ワクチン接種推進、接種完了後の感染対策継続など、現在の取組みを維持する必要がある。
		60歳以上 (総数に占める割合)	11人 (15%)	20人 (26%)	↗	
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	51人	47人	→	
		県南西部	13人	23人	↗	
		高梁・新見	9人	5人	↘	
		真庭	0人	0人	→	
	市中潜在・ 感染	③新規陽性者 における 接触歴不明者	数	19人	19人	→
割合 (③/①)			25%	25%	→	
医療提供体制	④入院患者数 (確保病床における入院割合)	10人 (2%)	20人 (4%)	↗	総括コメント レベル1. 通常の体制で対応可能であると思われる	
	⑤宿泊療養者数	20人	27人	↗	宿泊・自宅療養者数、入院患者数増加も、通常の医療は提供できている。	
	⑥自宅療養者数	33人	40人	↗		
	⑦重症者数	1人	1人	→		